

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	一茶双樹記念館維持管理事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	10	05	08	01	08
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	図書・博物館				
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	小栗 信一郎				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	一茶双樹記念館の来館者	意図	市指定史跡を文化財として良好に管理し、公開施設として来館者に快適に利用していただけるようにする。
事業内容	一茶双樹記念館の建物・庭園等のメンテナンスを行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成2年小林一茶寄寓の地が市指定文化財（史跡）に指定された。平成4年から6年まで保存整備事業を行い、平成7年4月に一茶双樹記念館がオープンした。保存整備から24年が経過し、建物の補修が必要となっている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	開館日数	309	309	309	日	→→	
②	施設利用日数	159	165	168	日	↑↑↑		
③	施設利用率	51.50	53.40	54.40	%	↑↑↑	施設利用日数÷開館日数	
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 当該維持管理事業は、市民の財産である一茶双樹記念館の施設保険料、修繕料等が主なものであり、利用者の安全確保及び財産価値保全のために必要不可欠なものである。		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		2,144,213	1,145,392	2,672,280				
事業費(b)(円)		1,058,513	82,642	1,546,560				
うち一般財源		1,058,513	82,642	1,546,560				
職員給与費(c)(円)		1,085,700	1,062,750	1,125,720				
人役・職員(人)		0.15	0.15	0.16				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)		0.05	0.05	0.04				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	施設の小破修繕・庭園管理等は、利用者が安心して利用するための最低限の措置である。このため、指定管理者と連携をとり修繕を行う。	③取組における課題(Check)	当該施設は平成7年の開館時の施設整備以来、経年劣化が見られるため建物診断の結果を踏まえた修繕計画が必要である。
②H30に実施した取組(Do)	指定管理者と連携をとり、駐車場フェンス・柵・砂利舗装・門扉の修繕等を行った。また、草刈等も行った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	施設の小破修繕・庭園管理等は、市民の財産価値を維持するため最低限の措置であることから引き続き指定管理者と連携をとり計画的な修繕が必要である。